

カリキュラムに関する諸問題について

キャンパス・ミーティング

2009.7.1(全学会議)

大学院3年 生活科教育領域

寺本 やよい

教科研究科目について

- 教科教育科目 小学校専門の教員による授業
- 教科研究科目 専門の教員による授業

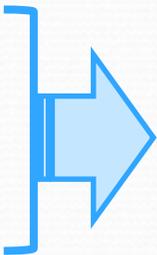


↓
内容が専門的で中高レベルの話

↓
小学校の教材研究的なものにはならないか

是非、小学校の内容にあるものについて研究科目の中で学びたい！！

教科研究科目について

- 教科教育科目
 - 教科研究科目
- 
- 履修人数の多さ

「教育大学」なのだから、少人数で専門的に学ぶことは出来ないか？

学生ボランティアについて

- 本学には教育委員会などから、多くのボランティアの要請がある



しかし、今のカリキュラムでは行く時間がない

ボランティアに行く枠を確保し、
それを単位化することはできないか？



学生時代から現場に入り、
実際に子どもと触れ合い、
多くのことを学びたい！！



総合演習について

- 総合演習の内容は、開講されている領域によってまちまちである



そのため、何をを目指す授業なのかが分かりづらい



3年の後期・4年の前期に開講される授業なのだから、
今まで大学で学んだ知識を総合的に活用するべき
ものなのではないか？

領域ごとの内容のばらつきを解消し、
大学生活の総まとめの
授業となってほしい！！



大学院の全学共通科目について

- 全学共通科目は履修科目一覧に 印が付いており、他領域の学生も履修できる



しかし、実際に授業を受けようとするとき、断られたり、嫌な顔をされてしまうことがある



全学共通科目として 印をつけているのだから、快く受講できるようにしてほしい

大学院の全学共通科目について

しかし全学共通科目を開講している領域としては…

- 全学共通科目となるまでは、領域内の学生のみで専門性を高めていた



他領域の人の考えに触れるというよさもあるが、専門性が高められなくなっている

全学共通科目を
開講する側・受講する側、両者が
不満を抱かないようにできないか？

大学院の特論と演習について

本来

- 特論...教員による講義形式のもの
- 演習...学生による演習形式のもの

実際

- 特論という授業題目であるものの、学生による演習形式になっているものが大変多い



講義によりその教員の持っている考えを聞きたい場合や、その科目を初めて受講する際などに大変困る

特論は特論、演習は演習の名前通りの授業をし、学生が授業を正しく選択できるようにしてほしい！！



ご清聴ありがとうございました

関連しての意見、
違った角度からの意見を
ぜひお願いします！！

